

## 東京都立石神井高等学校 平成31年度 教科（公民）科目（現代社会） 年間授業計画

教 科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3 学年A組～H組

教科担当者：(A組：佐藤 )(B組：佐藤 )(C組：小松 )(D組：佐藤 )(E組：佐藤 )(F組：小松 )(G組：佐藤 )(H組：佐藤 )

使用教科書：（改訂版 現代社会 第一学習社）

使用教材：（最新現代社会資料集 第一学習社）

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数
4 月	地球環境問題	様々な種類の地球環境問題について理解し、その解決に向けて、当事者意識を持って学習させる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	4

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	地球環境問題	様々な種類の地球環境問題について理解し、その解決に向けて、当事者意識を持って学習させる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	5

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	地球環境問題	様々な種類の地球環境問題について理解し、その解決に向けて、当事者意識を持って学習させる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	2
	日本国憲法（成立まで）	最高法規である日本国憲法の成立を学び、主体性のある主権者を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	4
6 月				

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	日本国憲法（平和条項）	日本国憲法の最大の特徴である恒久平和主義について学び、国際平和に貢献できる人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	4

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	日本国憲法（平和条項）	日本国憲法の最大の特徴である恒久平和主義について学び、国際平和に貢献できる人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	2
	日本国憲法（人権条項）	最高法規である日本国憲法の人権条項を学び、人権意識の高い人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	4

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	日本国憲法（人権条項）	最高法規である日本国憲法の人権条項を学び、人権意識の高い人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	6

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	現代の経済社会について	経済について学ぶ意義を知り、私たちの生活をよりよいものにするための努力をできる人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	6



	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	現代の経済社会について	経済について学ぶ意義を知り、私たちの生活をよりよいものにするための努力をできる人間を育てる。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	4

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	先哲の思想について	先哲の思想を学ぶことで、自らの生き方あり方について考えるきっかけを与える。	定期考査・提出物を点数化して評価する。	5

2月	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

3 月	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数